

わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(12月)

<ご紹介者>

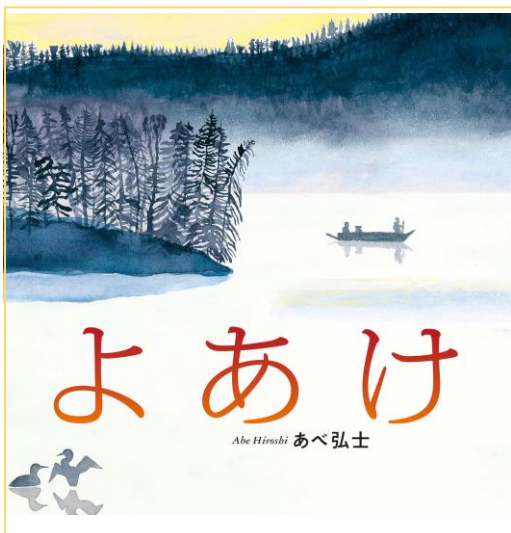
矢祭町長 佐川 正一郎
矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



『よあけ』

あべ弘士 作 / 偕成社

対象年齢：5歳から



本町でも絵本コンクールで審査員として大変お世話になっているあべ弘士先生の新作の絵本です。

先生は、北海道の旭山動物園に飼育係で勤務し、のちに絵本作家になった先生です。

動物を主題とする絵本はあべ先生がトップレベルと思っています。旭山動物園は、個性を引き出して世界的にも有名になった動物園です。

この絵本は、動物の個性を見抜き、私たち人間社会との関りを伝えています。

自然界に生きる動物達と、共生する大切さを認識しなければならぬと、子ども達へ伝えている絵本です。

お正月に家族で是非ご覧ください。

内容のご紹介

木の葉が赤や黄にそまり、実がたわわにみのる美しい季節。天までとどく木々が森をつくり、そのあいだを川がゆったりと流れている。

あの日、子どもだったわたしは、じいさんと小舟にのっていた。

夕暮れに岸辺でたき火をかこみ、じいさんから森の動物の話聞く。満天の星の下でねむり、早朝に起きて、また川に舟を出す。

朝靄をすかして見える動物たちのシルエット。やがて山の端から陽が差して、気がつくわたしは黄金色の中にかかっていた。

極東シベリアの原生林を流れるビキン川を舞台に、大自然の中でむかえる夜明けをドラマチックに描いた美しい絵本。

参考文献: 偕成社 紹介文 (矢祭もったいない図書館)